

## 今週のメニュー

■ [トピックス](#)

◇ KOVEC 来日 ―工場見学と情報交換―

■ [随想](#)

◇ 「農ビリサイクルと私」 ―第五章：発展期―（終）

株式会社黒田工業 黒田 實

■ [編集後記](#)

## ■ トピックス

## ◇ KOVEC 来日 ―工場見学と情報交換―

韓国塩ビ環境協会（KOVEC）の要望により、日本の塩ビ関連のリサイクル施設訪問と情報交換を行いました。これまでも、たびたびリサイクル施設の見学に訪日していますが、今回は、関係各社の協力をいただき、塩ビサッシの製造会社と塩ビサッシのリサイクル施設さらには壁紙のリサイクル施設を訪問させていただけることになりました。梅雨の合間をぬって6月中旬、KOVEC 事務局員はじめ、KOVEC 会員会社であるサッシや床材メーカー、リサイクル業者のほか政府関係者も加え総勢 14 名が、韓国から通訳帯同でやってきました。

北海道に到着した一行は、樹脂サッシメーカーの(株)エクセルシャノン栗山工場とサッシなどのリサイクルを行っている日本資源技術(株)を訪問しました。樹脂サッシの普及が進んでいる韓国の一行は日本ではアルミサッシの普及率が高いということに驚き、両社からの説明に熱心にメモや写真をとりながら、相互に質問を交わしました。

一方、韓国でも最近のマンション内装には壁紙が多く使われていることから、翌日の壁紙リサイクル施設新和环境(株)訪問の際も、その技術に驚き、高い関心を示していました。まず、壁紙を叩いて塩ビと紙に分離するところでは、機械の製造メーカーはどこか？ そしてリサイクル材の入手は韓国でも可能か？ など。最後にリサイクル塩ビをお土産として帰りました。

訪問3日目には、東京で日韓間の塩ビの状況について意見交換を行いました。リサイクルや化学物質規制、塩ビ製品の動向などについて意見交換がなされました。パイプに関連しては、最近韓国では、老朽化したコンクリート製下水道管の塩ビによる更生工法（[オメガ工法](#)のようなもの）が盛んで、数多くの業者が市場に参入しているとのお話がありました。



(株)エクセルシャノン  
栗山工場にて



塩ビ壁紙リサイクル施設見学風景

Eメールでのやり取りと違い、このような直接顔を合わせて行うミーティングでは、お互いの国の制度の違いなどじっくり話し合えたことから、大変有意義な意見交換となりました。また、施設見学をさせていただいたことについて、KOVECの方々に大変感謝されました。今回、より親密な関係を築き挙げたことで、今後も様々な情報交換等ができるようになったと思います。

末尾ではありますが、お忙しい中、大勢の見学者を工場内にご案内いただき、意見交換をさせていただいた皆様方に深謝いたします。

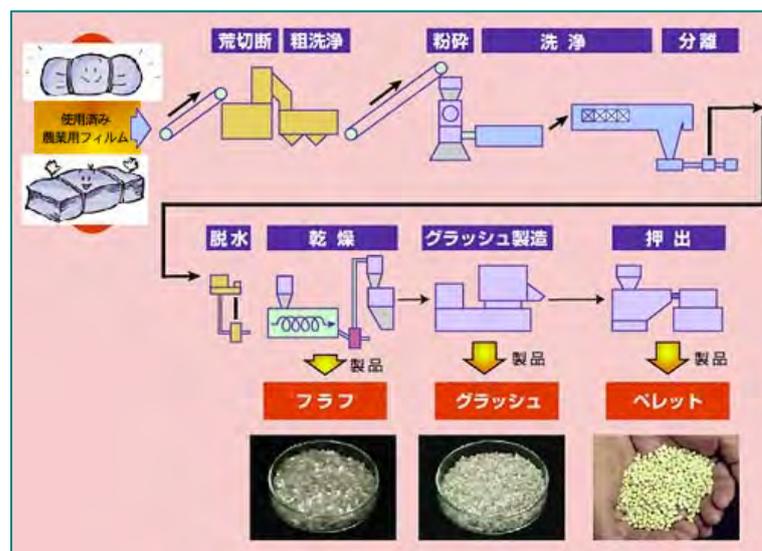
## ■ 随想

### ◇「農ビリサイクルと私」 —第五章：発展期—（終）

株式会社黒田工業 黒田 實

現在では、農業用廃プラスチック全般のみならず、工業用廃プラスチックのリサイクルの仕事も入るようになり、九州全域の廃プラと名の付くものは、ほとんど黒田工業がリサイクルをするようになった。

そして、平成16年には、製紙会社のボイラー用燃料であるRPF（固形燃料）製造施設を建設し、更には、平成19年2月22日には、日向市工業団地の4ha（ヘクタール）の敷地に「ひゅうがリサイクルセンター」を建設した。同日に竣工式を行い、いろいろな形でお世話になった全国の方々、国などの行政の方々や日向市の黒木市長などに出席して頂いた。2月22日という日は、黒田工業の創業記念日であり、その時から「黒田工業第二期創業期」が始まった。



リサイクル工場処理フロー

現在の施設及び事業内容は、塩ビ関係のみならず、容器包装プラスチックの再生事業、一般廃棄物（資源・粗大不燃）事業、固形燃料製造事業等の複合型リサイクル施設であり、これまでの廃プラスチック類の再生事業のみから多岐にわたるものをリサイクルできるまでの企業に成長することができた。更に、平成20年2月22日には代表取締役社長を退き、その職を加藤功司に譲り、会長となった。

現在は第一線から身を引いた状態であるが、若い頃からの思いである日本の未来の為に、未来の子供たちの為に今の自分に何ができるのかを自問自答しながら更なる勉強を行なっている毎日である。正直な話、この環境産業がこれだけ早く発展するとは夢にも思わなかった。これからは、日本だけに止まらず、アジアに向けて日本の静脈産業が発展することを願い、そして、その中で貢献していきたいと考えている。

(終)

⇒ [バックナンバー](#)



現在のひゅうがリサイクルセンター

## ■ 編集後記

梅雨に入って夏に向けて準備を始めました。

扇風機2台を組み立てていたら、羽を止めるネジ(スピナーというらしい)が1台分ない。

ここからスピナーとの戦いが始まった。こんなネジは家電量販店に行けば売っているだろうと思って見に行ったが、どこにも売ってない。店員さんに聞くとメーカー取り寄せというのが判明。それも値段が3000円!?

高すぎるので諦めて家に帰り、別にスピナーでなくナットで十分と思いネジが入っている工具箱から同じ径のナットを見つけたが、はまるが回らない。事故防止の為、一般的なネジとは逆の左ねじなのが判明.....。

家の近くで看板に「ネジ」としか書いていないネジ屋に向かい、M8の左ねじのナット下さいと行って買って来たがはまらない。ピッチ(ねじ山)が一般的なものと違う!!

たった1つのネジが見つからない。見ていた妻はあちこち探し歩く労力やネジを買うお金をかけるなら、安い新しい扇風機買えるんじゃないのと言。でももったいないし、悔しいです(T\_T)(リマル)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)